

No. 2897

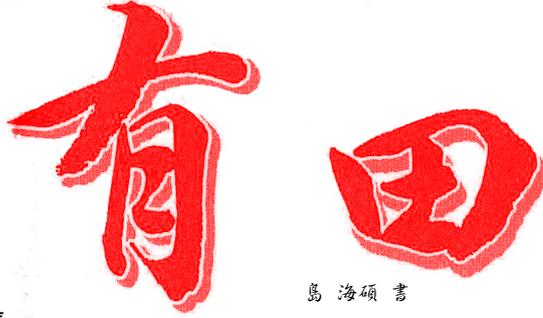
2018-2019年度

会 長 上野山 栄作

幹 事 嶋田 崇

R広報委員長 菅原 佳典

担当：丸山委員、中村副委員長



第2640地区
 例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創 立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2018-2019年度クラブ方針

Take Action and Enjoy!

行動を起こそう！そして楽しもう！



本日のプログラム

平成31年1月24日 第2898回

- ・外部卓話：澤柳正子氏「3万人のまちのレストラン経営～地域活性化の大切な要素とは～」
- ・ソング：「それでこそロータリー」

次回のお知らせ

平成31年1月31日 第2899回

- ・ローテーションデー：
トヨーカネツ・ソリューションズ見学
- ・ソング：「四つのテスト」

前回の報告（第2897回例会）

開催日 平成31年1月10日(木)

点 鐘 (上野山(栄)会長)

ゲストの紹介 (石垣(泰)親睦活動委員長)

ゲスト：橋爪美智代さん、橋爪千恵さん、石垣よしみさん
 井上恵実さん、北畑衣美さん、児嶋純子さん
 中村有香さん、中元礼子さん、嶋田一代さん
 菅原知子さん、上野山千穂さん、上野山りかさん
 脇村佳世子さん

今月の誕生・結婚祝

(石垣(泰)親睦活動委員長)

会員誕生：丸山君

配偶者誕生：丸山初代さん、川口恵美子さん
 北畑衣美さん

結婚記念：橋爪(誠)君、橋爪(正)君、中村君、宮井君



(左)1月のお誕生日、丸山君です。お誕生日おめでとうございます！

(右)1月が結婚記念日の方々です。3名がご夫婦でのご参加でした～♡

会長の時間

(上野山(栄)会長)

「おみくじ」

皆様、新年明けましておめでとう御座います。生前退位による新天皇即位と新年号を迎える年に有田ロータリークラブ創立60周年の節目を迎えられる喜び。心新たに会長としての残された半年を全うしたいと考え、身の引き締まる思いであります。

本日は初例会でございます。数名の会員様から体調不良で欠席との連絡をいただきました。寒さ厳しい折ですので、皆様無理のないようにしてください。というのも、先ほど本年度初の第7回の定例理事会を終え、創立60周年の記念事業と式典及び祝賀会は5月12日に橘家さんでの開催となりました。この節目は会員全員でお祝いしたいと考えます。この件に関しての詳しいご報告は2月21日の例会にてクラブフォーラムを開催し検討して行きたいと考えています。奥様方にも5月12日は是非、記念式典と祝賀会へのご出席をよろしくお願ひいたします。

さて、正月にまず行う事といえば初詣。皆さんも行かれたと思います。私はいつも地元の3つの神社に家族5人で詣でることにしています。よくよく考えてみますと家族でお参りして23年経ちます。長女が生まれてから22歳になるまで毎年、家族で初詣出来ていることは、とても有り難いことでもあります。末の長男はいつまで家族でのお参りに参加してくれるのか？そろそろ親離れが起こりそうですが、当家の伝統として続けて行ける家族でありたいと思います。

そして、初詣といえば「おみくじ」です。皆さんは運試しをするほうでしょうか？私は毎年、氏神様の初詣で引くことに決めています。そして、ここ数年はそのおみくじを財布や



携帯電話のケースに入れて一年携帯することを、自分のルーティンとしています。今年のおみくじは正直、イマイチでした。小吉で何も良いところが見つからず、商いは利益薄い、病は用心し医者任せよ、お産だけは安産でしたが、もうそんなのないですから(笑)

しかし、正月早々めげてはいられません。これは自分に対する戒めである。「このおみくじはお守りにして、これに負けないくらいの努力をしろという神の教えである」と勝手に解釈をして大切にすることにしました。いわゆるポジティブ・シンキングであります。何につけてもプラス思考の意味付けは必要だと思います。マイナス思考からは何も生まれません。今年一年は慎重に物事に取り組むことを常に意識して、ロータリーの事業に、自社の事業に邁進したいと思っています。

そして、1月は職業奉仕月間です。職業奉仕といえはロータリーの本質部分であり、ロータリーの全ての奉仕活動のベースにある考え方です。我々はロータリアンでありますので、このベースにある聞き慣れた言葉を今一度見直してみよう。そしてせっかくロータリークラブの会員なので、職業奉仕の理念をもっと自分の中で活用出来ないかとポジティブに考え直してみませんか？ベテランの会員方や入会まもない会員方によって、職業奉仕に対する理念の持ち方は様々かもしれません。しかし、実際にこの理念に基づいて自分の職場やロータリー活動を変革させた事実がありますか？考えることによって変革(行動)は起こせると思います。先ほどのおみくじのように勝手な思い込みでも良いと思うのです。その思い込みによる「行動」ことこそ大切だと私は思います。Take Action & Enjoy! 本年もよろしくお願ひいたします。

幹事報告 (嶋田(崇) 幹事)

- ① 1月のロータリーレート 112円/1ドル
- ② 1/17(木)の例会は休会です。(祝祭日のある週)
- ③ 後期会費は、1/24(木)の例会前に集金させていただきます。それまでに請求書を事務局より発送致しますのでご協力をお願いします。

出席報告 (木本例会運営委員長)

本日の会員数31名
 (出席規定免除会員9名)
 出席会員数22名
 (出席規定免除会員3名)
 88. 00%
 12/13 76. 67%
 MU:なし
 12/20 70. 97%
 MU:成川(守)君、中元君、井上君、石垣(泰)君

ニコニコ箱の報告

上野山(栄)君:謹賀新年 あらためまして明けましておめでとうございます。ご夫人の皆様方にもご参加ありがとうございます。脇村さん、年頭所感楽しみです。親睦委員会の皆様、本日の段取りありがとうございました。

楽しい一夜にいたしましょう。

- 嶋田(崇)君:あと半年、宜しくお願ひします。
- 嶋田(ひ)君:新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。
- 石垣(洋)君:元気で新年夜間例会に出席出来ました。感謝。脇村さん、年頭所感楽しみにしています。
- 成戸君:新年おめでとうございます。今年こそ出席率を上げるように頑張ります。
- 上野山(捷)君:あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。
- 橋爪(誠)君:皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様にとって素敵な一年になりますように。
- 北畑君:皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年入会させて頂きまして、まだまだ不慣れですが、今年もよろしくお願ひします。
- 橋爪(正)君:あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひします。
- 木本君:皆様、新年おめでとうございます。本年も宜しくお願ひ申し上げます。脇村重徳様、年頭所感宜しくお願ひ致します。
- 松村君:昨年、お世話になりました。今年もよろしくお願ひします。
- 丸山君:今年還暦になってしまいました。はあ〜。
- 菅原君:今年も宜しくお願ひ致します。
- 井上君:あけましておめでとうございます。
- 川口君:明けましておめでとうございます。本年も皆様宜しくお願ひ致します。脇村さん、年頭所感宜しくお願ひ致します。
- 中村君:明けましておめでとうございます。上野山会長、後半戦もがんばってまいりましょう。
- 橋本君:あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。
- 中元君:あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。
- 脇村君:新年おめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。
- 児嶋君:皆様、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

年頭所感



会員
脇村 重徳 君

今年の年頭所感は、干支の猪にちなんで「猪バージョン」と書きました。イノベーションは、「技術革新」という意味でもよく使われますが、実は「社会にもたらす幅広い変革」というのが本来の意味であり、今日は後者についてお話をさせていただきます。

万博誘致に立候補していた大阪市は、昨年11月、アゼルバイジャンとロシアを僅差で退け、見事に2025年万博の開催を決定しました。そのメインテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」であり、サブテーマとして「多様性のある生き方と社会・経済システムの構築」を掲げました。万博といえば、今から半世紀前の1970年、世界第2の経済大国となった日本の象徴的な意義を持つ大阪万博が、千里丘陵で華々しく開催されたのを鮮明に思い出します。

その当時、日本経済は世界に例のない高度経済成長期にあり、日本の実質経済成長率は何と年平均10%を超え、欧米の2~4倍にもなりました。世界的な好景気にも乗り、企業は技術革新や設備投資を積極的に行い、生産性が大幅に向上するとともに、大量生産が可能となりました。3種の神器と言われた白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫、また3Cブームともてはやされたカラーテレビ、クーラー、カーなどの耐久消費財が一気に普及し、人々の生活スタイルは大きく変わっていきました。

この比類なき経済成長はどうして実現されたのでしょうか。第二次世界大戦により灰燼と化した国土を再興するため、地方の人材を教育や仕事などを通じて東京に集め、そこで生まれた持ち場、持ち場の「多様性」が相互に切磋琢磨し、競争し合い、そしてイノベーションを起こし、まさに国を挙げて経済の活性化に成功したからであります。日本に限らず、世界の歴史上の現象を紐解けば、様々な人種、言語、性別、国籍など「多様性」が入り乱れて存在した時期あるいは地域には、必ずといっていいほどの社会的な変革が発生しています。

奇しくも、「多様性」を未来社会形成のキーワードに掲げた今回の大阪万博の開催を契機に、日本社会は新たな「多様性」を創り出し、かつての「明治維新」や「高度経済成長」に匹敵する、あるいは、それらを超える近現代3度目のイノベーションを起こすことができるのです。

さて最近、こんな話を耳にすることがあります。「居酒屋で酔い潰れても、スマホで無人の自動車を呼び出し、乗り込んだ車内でうたた寝をしている間に家に到着している」、あるいは「自動通訳機ができて、学生は英語を学ぶ必要がなくなるので、大学の必須科目から外され、一部の物好きな学生だけが選択するマイナーな科目に成り下がる」などです。こういう話が現実のものになると、タクシーの運転手も英語の先生も要らなくなってしまいます。ある高校生が川柳に、「機械化で 消えてなくなる仕事知り 将来の夢決められずいる」と詠みました。英語の先生になるのは諦めるとしても、他にどんな仕事が残るのだろうかと心配する切実な気持ちが伝わってきます。まさに、こんな夢みたくない未来がもうすぐそこに訪れ、その規模、範囲、複雑さはまさに「第4次産業革命」と呼ぶにふさわしいものになると言われています。

今から250年ほど前、蒸気機関の発明と鉄道建設によりもたらされた第1次産業革命から、第2次、第3次を経た今回の「第4次産業革命」は、人工知能、モノと人を直接結ぶインターネット、そして先進ロボットなどが主役となります。技術そのものは必ずしも目新しいものではありませんが、より高度に統合されたものとなりつつあり、世界は今、大きな変曲点に立っています。今までの産業革命は

人の手足を機械化してきましたが、これからは人の頭脳を機械化することになり、従来の産業革命をはるかに凌駕する社会の大変革をもたらすと考えられるからであります。

もうすでに、人工知能は目覚ましく進歩し、囲碁や将棋の世界では人間は人工知能に勝てなくなってしまいました。ただ現在の人工知能は、将棋の人工知能のように一つの目標にだけ特化したものです。例えば、将棋の人工知能は将棋にしか通用しません。ところが人間は汎用的な知性を持っているので、一人の人間が将棋もすれば、会話もできるし、事務作業もこなせるわけです。そう考えると、現時点ではまだまだ人間は捨てたものではありません。

ところが2030年頃になると、人間と同じ振る舞いができる「汎用的人工知能」が開発されるだろうと言われていきます。つまり、将棋もすれば、会話もできるし、事務作業もこなせ、しかも、人間より安価で、文句も言わず、ひたすら働き続けることができるロボットたちがわんさと出現するというわけです。そうすると、ロボットたちは今人間が行っている単純作業からどんどん取り込んでいくようになり、例えば、スーパーのレジや受付係、タクシーやバスの運転手さん、漁師さん、レストランのシェフやウエイレスなど、肉体労働の仕事はだんだんなくなっていきます。そして、大半の仕事がロボットに取り込まれるのは、2045年頃と言われています。どこの会社にも、生身の人間の数より圧倒的に多い人工知能を搭載したロボットが駆け回る光景が現れることとなります。この時点を「シンギュラリティー（技術的特異点）」と呼び、ついに人工知能の性能が人類の知能を上回ってしまうことを意味します。「シンギュラリティー」とは、もともとは物理学の用語で、「想像もできないような途方もないことが起きる」という意味合いが込められているそうです。

こうして、人工知能はあらゆる職場に入り込みますが、本当に重要な仕事は人間が握っておかないと、不測の事態が起きたときなどは、人間らしい感性で判断する事ができなくなってしまいます。そう考えると、人間に残さなくてはならない仕事はどんな仕事なのでしょうか。一般的には、新商品の企画を考えるなどクリエイティブな仕事、工場管理や会社経営などマネジメント系の仕事、看護、医療、接客などホスピタリティ系の仕事などが、やっとのこと人間が就ける仕事といわれています。その結果、最終的に仕事に就けて所得があるのは、全人口の1割位のスーパースター労働者だけになってしまいます。それと、ロボットを所有するごく少数の資本家がめっちゃめっちゃ儲かる社会になってしまうのです。つまり、人類にとっては初めて経験する「脱労働社会」の到来ということになるわけです。

具体的に、何人ぐらいの人々が仕事に就けなくなるのでしょうか。2045年の日本の人口は約1億人と推定されていますので、その時に就業できる人は人口の1割、つまり、約1,000万人となります。一方、その時点の15~64歳の生産年齢人口は約5,000万人と推定されていますので、約4,000万人の人々が仕事に就けなくなります。その内、半分を占める約2,000万人の女性には全員専業主婦になっていただくとしても、何と2,000万人の働き盛りの男

性が仕事に就けないという計算になります。このようにして出現した仕事も収入もない人たちはどのようにして生活するのでしょうか。それは、仕事に就いた人たちが支払う税金の中から、最低限の生活を送るための現金を仕事のない人に支給する「国民配当制度」を導入すれば一件落着ではないかと、いとも簡単に言う人もいます。

確かに経済的にはこれでいいかもしれませんが、今の世の中には「働かざるもの食うべからず」という言葉が広く浸透しているように、人間社会は労働に高い価値を置いています。日本では、憲法第27条に「すべての国民は、勤労の権利を有し、義務を負う」とあるくらい労働には重みがあります。働くことこそ人間の本質であり、それを果たしていない人は「人生の落後者」とまで言われる社会なのです。憲法の条文をちょっと変えれば済むというような単純な話ではありません。それでは具体的にどうすれば、人間は働かなくても満足できるのでしょうか？あるいは働くこと以外で自己実現することができるのでしょうか？できるとすればそれは何なののでしょうか？といった難問にぶち当たることとなります。

昨今、地球環境問題が大きくクローズアップされている中で、一昨年、経団連は「経営倫理規定」を改定し、日本の多くの企業に順守を呼びかけました。即ち今までは、あくまで事業を最優先して一生懸命に働き、その結果、公害などで社会に迷惑をかけることになるから、環境保護に取り組みましょうという考え方でした。これからはそうではありません。企業が環境保護で社会に役立つ存在であるからこそ、注文をいただき、売上が立つという考え方なのです。言い換えれば、従来の「働くことで自己実現する」が、これからは「社会貢献をすることで自己実現する」に変わりつつあるのです。何も労働だけが人間の本質ではなく、労働以外にも素晴らしいことはいっぱいあるし、そこに価値を見出そうという人々も沢山いるはずだというわけでありませぬ。

実は皆さん、経団連がどんな取り組みをしようと、社会貢献といえどロータリークラブはその本家本元であります。残念ながらロボットに仕事を奪われ働けなくなったけれども、ぜひ何か社会貢献をすることで自己実現してみたいという人々にとっては、ロータリークラブはその「駆け込み寺」となって、入会希望者で溢れかえることでしょう。会員増強どころか、逆に会員選別委員会でも新たに設けて入会者を制限しなくてはならないかもしれません。こうして、他人のことを思いやり、その実践を追求する人間たちが集うロータリークラブこそが、どれだけ知性が高くなったロボットといえども決して侵すことのできない聖域として、未来社会に燦然と輝き続けるのであります。ご清聴有難うございました。

会員年頭所感

石垣(泰)君:60周年事業懇親会まで気を抜かずにガンバリます。

石垣(洋)君:あけましておめでとうございました。皆様にとって幸せな一年になりますように。今年もよろしくお願ひします。

井上君:ダイエット

岩橋君:この1月で入会40年です。有田RC40周年の時に会長をさせていただき、会員の皆さんやご夫人の方々に大変お世話になったことが大変懐かしいです。今年創立60周年!あと何回、例会へ出席できるのか...?できるだけがんばってみます!

上野山(栄)君:「行動」します。猪のように突き進みます。

上野山(捷)君:ことしも健康第一です。

川口君:本年度は、「人を守り人を育む仕事」をスローガンとして頑張ります。

北畑君:今年一年、せいっぱいがんばります。

木本君:安全第一で頑張ります。

児嶋君:今年1年はロータリーの為がんばりたいと思います。

嶋田(崇)君:60周年事業の成功を祈って!

嶋田(ひ)君:今年亥年ですが、ゆっくり落ち着いた日々を過ごせたらと願ひます。

菅原君:今年も一年がんばろう。

中村君:今年も元気でゴルフができますように。何よりも巨人優勝が一番。

中元君:チャレンジ精神で頑張っていきたいと思ひます。

成川(守)君:健康で過ごしたい!本年もよろしくお願ひ申し上げます。

成戸君:感謝の気持ちでいかに有意義な一年を過ごすか、一番の課題です。

橋爪(誠)君:融通無碍の精神で頑張る。

橋爪(正)君:青年の心を持ち続けていたい。

橋本君:健康 楽しむ 信頼

福原君:今年も1年よろしくお願ひ致します。

松村君:軽い運動と腹八分目でシンプルに一年過ごします。

丸山君:とうとう還暦になってしまいました。今年もよろしくお願ひいたします。マイペースで一生懸命がんばります。

脇村君:猪バージョン

閉会・点鐘 (上野山(栄)会長)



年男所感

亥年生まれの年男の皆さん

宮井 清明 君 (昭和10年)

丸山 芳孝 君 (昭和34年)

菅原 佳典 君 (昭和34年)

橋爪 誠治 君 (昭和46年)



宮井 清明 君

私は昭和10年生まれで、7回目の亥年を迎えました。84歳です。超高齢です。光陰矢の如しと申しますが、当クラブに入会し早19年になります。しかし、まだまだ勉強不足でロータリーのいろはを十分理解できていません。

また、最近、健康寿命とか人生100年時代とよく言われますが、今年も健康に留意し皆様方の足手まといにならぬよう老骨に鞭打って頑張ります。平成時代も今年4月で終わり5月から新元号に変わりますが、平穏な時代でありますよう祈念致したいと思います。

(※宮井君は風邪のため欠席)

丸山 芳孝 君

早いもので、還暦(60歳)になってしまいました。年ばかりはどうしようもありません。還暦になると赤いちゃんちゃんこを着るということですが、私はそういうものが嫌いなので、何年か前から子供たちにそんなものは用意するなと言っていました。そのかわりに今月私の誕生日に還暦祝いということで



子供たちが「旅行でもおかあさんで行って温泉でゆっくりしてきたら」とJTBの旅行券(JTBの全国の指定のホテル・旅館から好きな所へ行ける)をプレゼントしてくれました。いのしし年なので、猪突猛進とよく言われますが、私はそういうタイプではないので、マイペースで今まで仕事や子育てでなかなかやりたくてもできなかったことをどんどんチャレンジしていきたいと思えます。心身ともに健康年齢はあと一回りぐらいと思うので、非常に濃い毎日を過ごしたいと思えます。

菅原 佳典 君

昨年末より来年は亥年、年男だから新年例会で年頭所感を述べるようにとの嶋田幹事よりの仰せがあり、年頭に当たって何かを考えたり多くの人を前に喋ったりした経験も乏しくして何を喋ろうかと少し考え込みました。



私は今年9月で還暦を迎え満60歳になります。人それぞれ年齢に対する考えはあろうかと思いますが、病気に健康で好きな趣味の旅行を続け、元気でいられるのはあと何年だろうか、改めて考えてみました。10年で70歳、20年で80歳、我がクラブには元気でこの年齢を迎えられている先輩が沢山いらっしゃいますが、はたして自分にはそれが叶うのだろうか。在り来たりかも知れませんが今年からは60歳からできる健康管理、体力維持を考えてみよう、このスピーチを依頼いただいた機会を好機として考えてみました。

まず健康管理の手始めとして昨年末ですが「健康診断」を行いました。20歳台半ばに勤めていた会社を退職し、それ以来「健康診断」というものから遠ざかっていました。「時間がもったいない」、「自分は健康だから」、「病気や怪我をすれば病院にいけばよい」などの理由をつけて

30年以上避けてきたのですが、今回まずは自分の現在の健康状態を把握しようと受けてみました。結果は良好、血圧は上120下85で至って正常。肺の写真も曇りなく正常。胃カメラも酒のためか小さな赤い部分があったものの、きれいな胃の中が写されていました。血液検査の結果は・・・。

まずは健康で60歳からの人生をスタートできることとなりましたので、体力維持に今年から何を始めようか、ジムに行こうか、自宅で筋トレしようか、ジョギングか、妻とも相談し取り敢えず二人で歩くことから始めてみようということになりました。毎日というわけにもいきませんがせめて週末だけでもと・・・また、歳相応におなかも出てきていますのでダイエットにも挑戦しなければと考えています。いままで年の初めの決め事、「今年こそ何かをしよう」などと考えたこともなく漫然と生きてきた人間でありますので、果たしていつまで続くことかと思いますが、健康で元気でいられるためにも、これから少しずつですが健康管理と体力維持を考えていきたいと思えます。

橋爪 誠治 君

皆様、新年あけましておめでとうございます。

今年の私のテーマは「融通無碍」で頑張りたいと思っています。技術革新が進む昨今、人間の仕事の在り方も大きく変わろうとしています。この文字に含まれる二つの意味に惹かれ今年のテーマにしました。一つ目が、考えや行動にとらわれず自由なことという意味と二つ目が、妨げもなくお互いが良く理解し通じ合うという意味も含まれています。自分の会社、そして有田ロータリークラブ内でも意識を高め実践したいと思います。お互いにコミュニケーションを取り合い、自由な発想を言い合える環境にしていきたいと考えています。



2019年度も会員の皆様、ご家族の皆様にとって素敵に輝かしい一年になりますように祈念しまして年男スピーチとさせていただきます。

次週1/31(木)は

ローテーションデーです。

場所は木本産業(例会)& トーヨーカネツ・ソリューションズ(見学)です。(※現地集合)

時間は通常通り12時30分から例会開始です。





←会長賞を上野山（捷）君がGET！

→橋本会長エレクトの乾杯と挨拶



「清流太鼓 かなや伝々」の皆さんの和太鼓演奏を楽しみました。

